



4手を取り合って、フォークダンスを楽しむ参加者 5 昼食にはおいしいショートケーキも並んだ 6 ふとした合間にこぼれる笑顔

## No.1 子ども議会 まちづくりに 関心を

子ども議会が12月20日に湯前町役場の議場で開かれ、湯前中学校(古家慎也校長)の3年生38人が子ども議員として、町執行部にまちづくりへの質問や提案を投げかけました。

子どもの政治の関心を深め、町の未来について考える機会をつくろうと昨年初めて議会、執行部、湯前中が連携して取り組み、今回で2回目。11月に同校で事前学習会が開かれ、生徒たちは現職の議員から質問の仕方などを習って本番に挑みました。

議長を務める倉本豊議長が



まっすぐに手を挙げて堂々と質問をした生徒

※SNS…ソーシャルネットワーキングサービス

「昨年の質問が実現につながっているものもある。それぞれの目線で考えていることなどを、自分が分かるまで遠慮せず質問してほしい」、鶴田正巳町長が「皆さんの質問に対して一生懸命答えることができれば」とあいさつ。

傍聴席で議員や保護者、教師が見守る中、生徒は6班に分かれ①少子化対策②観光③住環境④産業振興⑤教育⑥高齢化対策について、順番に質問しました。

生徒は「高校卒業まで医療費を無料にしては」「インスタ映えスポットをつくっては」

「町営住宅の改築、修繕をしては」「中学校のトイレを改修してほしい」「SNS\*を使って災害情報を伝えてはどうか」などと具体的な意見や提案を声に出して伝えました。鶴田町長ら執行部は具体的な数字や方針を示しながら、分かりやすく生徒たちに答えていきました。

少子化対策の班として質問をした、財部ひなきさん(同校3年)野中田3)は「質問するのは緊張した。事前に県内の状況を調べて挑んだ。議員の皆さんの大変さが分かった」と話しました。

## No.2

### あゆみの会クリスマス

# 心交わして きずな深める

1レクリエーションを楽しむ、心の交流を深めた参加者 2美しい弦楽器と参加者の鈴が鳴り響いた「アンサンブル楓」の合奏 3サンタやトナカイのイラストを張り付けてオリジナルの帽子を作成



ボランティアグループ「あゆみの会」(地内豊子代表)のクリスマス会が12月23日に農村環境改善センターで開かれ、郡市内の障がい者支援施設の利用者や人吉球磨精神保健福祉ボランティア「麦の会」、地域住民ら約100人がレクリエーションや食事を楽しみ、心の交流を深めました。

知的・身体・精神障がい者とその家族、地域住民がきずなを深めることで、ともに地域を支えようと毎年7月に七夕祭り、12月にクリスマス会を開催。クリスマス会は24回目。開会式では、会長の地内さんが「みんなに会えるのをとても楽しみにしていた。今日はゆっくり楽しく、いっぱい

い言葉を交わして、手を握り合って一日を過ごしてほしい」とあいさつしました。

「ゆのまえ読み聞かせなぞの会」がクリスマス会についての絵本を読み聞かせ、「アンサンブル楓」がバイオリンなどの弦楽器でクリスマスにちなんだ曲を披露。参加者も鈴を手にして、一緒に演奏しました。

レクリエーションでは、アコーディオンの演奏に合わせた「じゃんけん列車」を楽しみ、フォークダンスでクリスマスツリーを囲むなど笑顔で交流。昼食には、ボランティアが真心を込めて作ったカレーライスと、ショートケーキが用意され、参加者はおいしそうに食べていました。

午後からはキャンドルサービスやプレゼント交換をして、手話ソング「約束しよう」で再開を願いました。



# ホットピ Hotopi

ホットなわだいをあなたへ

歌声とともに手話も披露